



# 武蔵村山市立第一小学校 学校だより

令和5年10月31日



## 食べる力は、生きる力

校長 押本 純樹

先日、二泊三日でさくら学級の宿泊学習に行ってきました。その様子は、随時本校のX（旧 Twitter）に掲載しましたが、「また？」と思われた方がいたかもしれません。1日目の夕食、2・3日目の昼食と計3回、カレーライスが出ました。3日連続はないだろうとお叱りこそありませんでしたが、メニューとしては一考を要します。

感覚的ですが、ひと昔前と比べて子供たちの偏食が目立ちます。宿泊学習で三食を共にすると、それを特に感じます。毎年6年生といっしょに行く日光移動教室では、一品か二品減らして、もっと完食させたいと思うのは、昭和生まれの昭和育ちだからでしょうか。確かに食が細い子もいて、一律に無理強いするのは良くないことと分かっているのですが、片付けの際、お皿に山となった残食量を見ると、もったいないと思ってしまう。

それに比べると、さくら学級の宿泊先のメニューは、工夫があり、適量だと思うのですが、食べない子は、食べません。これから山登りをするというのに、残す朝食の量が気になります。2日目のお昼は、おにぎり弁当が定番だったのですが、口に合わない具に手つかずのおにぎりが毎年たくさん残っていました。

そこで頼りにしたのが、カレーライスです。どの子もおおむねよく食べます。今回は3日連続3回出ましたが、お残しは少なかったです。カレー味にも違いがあり、カレーが苦手な教員が最終日に3回目を食べたとき、「これは、おいしい。また食べてみたい。」と言っていました。カレーライスには、食をすすめる不思議な力があり、今回はその力を借りたわけです。子供たちからもそんなに不満はありませんでした。

ただ、普段の給食は、そうはいきません。お残しは、長年の本校の課題でした。本市には年2回、各校の残食量を調べ、比較するモリモリウィークがあります。少しでも残さず食べてほしいという取組ですが、いつも本校は決まってずっと下位でした。好き嫌いがあるにせよ、もう少し何とかならないものかと思いつけていました。

そこへ吉報が届きました。1回目のモリモリウィークの結果が9月の献立表に掲載され、なんと本校が第1位でした。市内でお残しが一番少ない小学校に輝いたのです。子供たちは、今、これから生き抜く大事な体づくりをしています。食べすぎは良くありませんが、食べることは生きるエネルギーを体に入れる行為です。こんなにうれしいことはありません。今後の順位はともかく、この食べる姿勢が学校全体として継続してくれればと思っています。食べなければ、元気も出ません。



お見事！完食です。